

小林仁の眼差し vol.9

Durch die Augen von Hitoshi Kobayashi

～ J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻の場合 ～

J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻 BWV846-869 全24曲

J.C.F. フィッシャー：アリアドネムジカ op.4 全20曲

J.S. バッハの曲（弦楽アンサンブル用に編曲）



2026年3月22日(日)
音楽の友ホール

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30
(東京メトロ東西線 神楽坂駅1番出口から徒歩1分)

15時開演（14時30分開場）
(19時40分演奏予定)

チケット（全席自由）4,000円

お問い合わせ先 k.pianostudy@gmail.com

〔お申し込み方法〕

①お名前 ②ご希望枚数 ③チケット送付先
明記の上、メールで事前にお申込みください。
先着順に承り満席になり次第、受付を終了いたします。

〔出演者〕

～ピアノ～

飯野明日香 伊藤野笛 浦田弥生 大坪加奈 加藤美緒子 金澤佳代子 加納文子
北川恵美 草冬香 久住晶子 小坂圭太 児嶋一江 木幡律子 近藤綾子 近藤伸子 佐伯岡子
齋藤麻妃 三枝由美子 榎原道子 佐々木有紀 佐原光 澁谷篤 澁谷有恵 末松茂敏 砂原悟
高木早苗 高木裕美 高橋雅代 竹村浄子 蓼沼明子 田中明美 千葉ゆかり 中津留絵里加 中村理紗子
奈良希愛 服部真由子 本家規代 宮下直子 村岡明日香 諸原康代 (五十音順)

～弦楽器～

宮本恵(1st) 友永優子(2nd) 中川玲美子(va) 加藤文枝(vc) 小笠原茅乃(cb)

～主催～ k.pianostudy

～後援～ 公益社団法人 日本演奏連盟 / 公益財団法人 日本ピアノ教育連盟 / 株式会社 河合楽器製作所
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) / 札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部 / 洗足学園音楽大学
東京藝術大学音楽学部同声会 / 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 響視会 / 日本ショパン協会

変化を遂げる時代の中、小林仁のもと2020年より始まった
オンライン勉強会は70回を超えている。

第1弾 <J.S. バッハ作曲インヴェンションと
シンフォニア全曲>に続き、第2弾 <F. ショパン
作曲マズルカ全曲>、第3弾 <R. シューマン
作曲ユーゲントアルバム全曲>、そして今回
第4弾は <J.S. バッハ平均律クラヴィーア
曲集 第1集全曲>。

このコンサートは小林仁の分析を礎に、
各国から集まったピアニストたちが取り
組んだその軌跡を音にする試みである。

これまで半世紀以上にわたり日本の
ピアノ界を先導してきた小林仁。

ピアニスト、教育者、作曲家・編曲家
と様々な顔を合わせもつ氏を仰ぐ
音楽家たちが、世代も国境も
越えてここに集う。

小林 仁



~Profile~

1936年三重県四日市市に生まれる。
東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。第25回
日本音楽コンクールピアノ部門第一位特賞。1960年
第6回ショパン国際コンクールでファイナリスト、奨励賞
受賞。ドイツ、バイエルン州政府給費奨学生としてミュンヘン
音楽大学に約3年半留学。ピアノ演奏活動の業績は、リサイタル活動
の傍ら40曲以上のピアノコンチェルトもしくはピアノとオーケストラ
のための作品をN響はじめ、国内外の多数のメジャーオーケストラと共演。

室内楽活動として、レオニード・コーガン、ピエール・フルニエ、ヨゼフ・スーク、
ミシェル・シュバルベなど世界第一級の演奏家との共演も多い。現代音楽の初演、再演
にも多く関わり、軽井沢の現代音楽祭で演奏したピエール・ブーレーズの第一ピアノソナタ
本邦初演が高く評価されて20世紀音楽研究所賞を受賞。指揮、作曲、編曲の分野でも業績を
残したが、特に編曲に関しては幼少時から生涯にわたってさまざまな形で関わり続けた。教育者
としては、東京藝術大学教授、その他の音楽大学で多くの俊才を育てた。門下生からは国内、国際コ
ンクールに多数の優勝者、受賞者を輩出。浩宮 徳仁殿下(天皇陛下)には約3年にわたりピアノをご進講。
日本音楽コンクール、ショパン国際コンクール、ジュネーヴ国際コンクールなどの審査員も務めた。

2010年ショパン生誕200年記念の年に際し、ポーランド政府よりアルティス グロリア金勲章を
授与される。2016年瑞宝中綬章を叙勲。日本ショパン協会会長、日本ショパン協会会長、(財)日本
ピアノ教育連盟会長、札幌大谷大学芸術学部長などを歴任。現在、東京藝術大学名誉教授、札幌大谷大学
名誉教授、洗足学園音楽大学名誉教授、(財)日本演奏連盟常任理事、日本アルパン ベルグ協会常任理事。